

臨床薬理

2020 年度入学 2 年次	単位	1 単位（30 時間）	講師	小樽市立病院 薬剤師	実務経験の有無
					有
I. 学習目的 臨床で使用する頻度の高い薬剤や重要な薬剤の作用機序、取り扱いについて理解し、安全に薬物療法に携わるための基礎を学ぶ。					
II. 学習目標 1. 臨床で使用する頻度の高い薬物の薬理作用と作用機序について理解し、臨床への応用と副作用、与薬時の注意事項について知る。					
III. 学習内容 1. がん、痛みに使用する薬① 2. がん、痛みに使用する薬② 3. 脳・中枢神経系に使用する薬① 4. 脳・中枢神経系に使用する薬② 5. 脳・中枢神経系に使用する薬③ 6. 感染症に使用する薬① 7. 感染症に使用する薬② 8. 救命救急時に使用する薬 9. アレルギー、免疫不全状態の患者に使用する薬① 10. アレルギー、免疫不全状態の患者に使用する薬② 11. 消化器疾患に使用する薬① 12. 消化器疾患に使用する薬② 13. その他の症状に使用する薬① 14. その他の症状に使用する薬② 15. その他の症状に使用する薬③					
IV. 評価方法：筆記試験					
V. 教材：ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち〔2〕臨床薬理学 メディカ出版					